

VRで認知症の世界を体験！ 18名参加



VRゴーグルとヘッドホンで目と耳から体験

今や65歳以上の5人に1人が、認知症および認知症予備軍ともいわれています。そこで、人それぞれ様々な症状があることを体験をすることで、認知症への理解を深めてもらおうと、イベントを企画。厚木市地域包括ケア推進課協力のもと、株式会社シルバーウッドより講師をお迎えし、2月16日南毛利公民館1階集会室にて、バーチャルリアリティー（VR）の技術を活用した認知症体験会を実施しました。専用の機械をつけると、認知症の方が見ている世界を体感することができます。参加者からは、「VR体験は

初めてでしたが、認知症の方の見えている世界を感じることができた」「家族の認知症の状態と重ね合わせて、学ぶことができた」と感想をいただきました。



360度の景色を見渡します

地域包括支援センターは、地域の皆様の相談窓口です

介護・健康・福祉等の相談をお受けしています。
まずは、お電話ください。

電話 **046-250-1108**

営業時間 月～金曜 8:30～17:00 / 土曜 8:30～12:00

担当地区 戸室・恩名・温水・温水西・長谷・愛名・毛利台



新入職員の紹介

春になり、新しい職員が入りました！



看護師
佐藤 絵理香
小旅行気分時々神社巡りをしています



主任介護支援専門員
三船 俊之
横浜生まれで機械いじりが趣味です



看護師
杉本 幸華
ドライブと食べるのが好きです！

暮らしやすい地域を目指して 多職種研修会で意見を交換

厚木市地域包括ケア推進課の協力で、地域の介護医療事業所へお声掛けし、南毛利ケアマネ連絡会を1月19日南毛利公民館にて実施しました。

ケアマネジャーをはじめ、医師、看護師、薬剤師、デイサービス管理者など35名が参加し、職種を越えた意見交換をおこないました。



地域のために連携強化

地域包括支援センターでは暮らしやすい地域づくりのため、ケアマネジャーや関係機関との研修会を定期的に行っています。

南毛利公民館まつり 健康相談ブースで参加



3月3日 南毛利公民館・南毛利スポーツセンターにて、南毛利公民館まつりが開催されました。3年ぶりの開催だったため、久しぶりで役員の皆さんも手探りでしたが、以前の祭りを思い出しながら取り組んでいました。

公民館では、民謡やダンスなどの芸能発表会が盛大に行われ、素敵な絵画や、書道、生け花などの作品も展示されていました。お茶会では、お抹茶も振る舞われ、とても美味しくいただきました。スポーツセンターでは、ストラックアウト、缶バッジやエコバック作成コーナーが設けられました。

そこで南毛利包括支援センターは、健康相談ブースで参加をし、来場者の皆様の健康相談・血圧測定・健康づくりに関するリーフレットの配布を行いました。

公民館祭りは大盛況で、来場された方は皆さん笑顔で楽しそうでした。

暖かくなり屋外の景色が色鮮やかになりました。

南毛利地域包括支援センター近くの恩曾川沿いの景色は季節折々の姿を見せてくれます。

時にかわいらしい動物との出会いもあって、癒しの場所のひとつです。

散歩しながら運動ができて、会話が弾んで、南毛利地域の自然に触れられる！！地域の方とそんな時を過ごせる時間がいつか持てたらいいな。と密かな期待をしています。(金子)

スタッフのつぶやき

